

2017年7月20日

各位

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ
株式会社 三井住友銀行
株式会社 S M B C 信託銀行

「ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)」の取組開始について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ(執行役社長グループ CEO: 國部 毅、以下「S M F G」)と株式会社三井住友銀行(頭取 CEO: 高島 誠)及び株式会社S M B C 信託銀行(代表取締役社長: 古川 英俊)は、社会的課題の解決を目的とした新たな官民連携スキームである「ソーシャル・インパクト・ボンド(以下「SIB」)」の取組を開始いたしました。なおこの度、神戸市(市長: 久元喜造)が導入する「糖尿病性腎症等重症化予防プログラム」に対して、日本で初となる本格的なSIBによる事業資金の調達スキームをアレンジし、ファイナンスいたします。

SIBは、民間の資金提供者から調達する資金を使い、行政機関などから委託を受けた民間事業者が公的サービスを実施し、成果に応じて資金提供者に利益を還元する仕組みです。行政機関にとっては民間の資金やノウハウを活用でき、民間企業にとっては事業機会及び社会貢献機会を得られるものです。また社会的課題解決に関心を持つ個人投資家らの投資機会にも繋がります。なお、SIBは政府の成長戦略である「未来投資戦略2017」にも健康寿命延伸に向けた取組として推奨されております。

SIBは、社会的インパクト投資の1つとして2010年に英国で始まり、今後は日本国内でも拡大が見込まれております。S M F Gでは、今回の案件を皮切りに、自治体広域連携や都道府県レベルでの大規模化や他分野での活用についてもサポートしてまいります。

S M F Gは、取り組むべきCSRの重点課題として、「環境」「次世代」「コミュニティ」の3つを定めております。より良い社会を次の世代に引き継ぐために、未来への架け橋となるよう、現代社会や地域コミュニティ等が抱える社会的課題を金融面からサポートすることを目指しています。SIBを国内に広く展開していくことは、我が国が抱える財政問題のみならず、国民のQOL(Quality Of Life)向上にも貢献できるものと考えております。引き続き、持続可能な社会の実現に向けた金融サービスを提供してまいります。

以上